

令和3年度 第1回香美町総合教育会議 議事録

【日 時】

令和4年1月24日（月）午後3時30分～午後3時55分

【場 所】

香美町役場3階 大会議室（香美町香住区香住870番地の1）

【出席者】

町 長 浜上 勇人
教育長 前田 毅
教育委員 吉田 加代子
教育委員 安田 優二
教育委員 多田 好江
教育委員 田路 一成

事務局 教育総務課長 清水 幸信
こども教育課長 丹後谷 智
生涯学習課長 裏戸 正範
教育総務課副課長 山田 貴広
こども教育課福課長 井上 修三
生涯学習課副課長 田中 利彦
教育総務課主幹 宮脇 秋子

【協議事項】

- (1) 教育に関する大綱の変更について
- (2) 「少子化の進行を背景とした香美町の教育環境のあり方について」の取扱いについて
- (3) その他

【議事要旨】

1 開会

(教育総務課長)

ただいまから令和3年度第1回香美町総合教育会議を開催いたします。会議の開催にあたり、まず、浜上町長よりあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

(町長)

令和3年度の第1回目の総合教育会議をお願いいたしましたところ、本庁にお集まりいただきましてありがとうございます。コロナの関係が大変な事態を迎えておりまして、学校現場でも混乱が続いているところでございます。特に、香住小学校、香住第一中学校では休校措置をお願いしておりますし、余部小学校では5年6年が学級閉鎖となっております。私どもの町は人口1万6千人の町ですから、まだこのような事態でございしますが、ここ近日の香美町、特に香住区、小学生・中学生の様子を見ますと、今は東京の1日1万人の感染者が確認されましたが、人口比率で言いますと香美町の方が多いわけでございしますから、大変な事態になったと思ひますし、重症者、長期療養は少ないとはいえ、連日、小さな町の中で感染確認が続くということでございますから、今週あたりがピークなのかなという思ひの中で、関係者の皆さんと協議を進めているところでございます。

特に近日になりましてから、まん延防止等重点措置の話も出ておりますが、町内産業にすでに大変影響が出ておりまして、宿泊施設も含めて、観光客のキャンセルが相次いでおります。香美町産業のすべてに影響が出るという思ひで、職員とともに情報交換に努めておるようなところでございます。

そういう中、今日は、香美町の教育に関する大綱の変更についてと「少子化の進行を背景とした香美町の教育環境のあり方について」の取り扱いについて、この2つの大きい議題について、皆様のご意見を忌憚なくお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

(教育総務課長)

ありがとうございました。ここからは、浜上町長に進行をお渡しし、協議事項

に入りたいと思います。町長よろしく申し上げます。

3 協議事項

(1) 教育に関する大綱の変更について

(町長)

それでは、協議に入らせていただきます。協議事項(1)の香美町の教育に関する大綱の変更について、教育委員会事務局より説明をいたします。

(教育総務課長)

教育に関する大綱の変更について、ということで協議をお願いします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3により、地方公共団体の長は、教育基本法に規定する基本的な方針を参酌し、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めること、と規定されております。その中で、目的や内容が同じである教育振興基本計画をこれにかえることができるとされております。本町におきましては、この地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されました平成27年から総合教育会議を行うようになり、平成27年5月の会議におきまして、第1期教育振興基本計画を、香美町の教育に関する大綱とするということを決定しております。さらに、平成29年2月の総合教育会議で、教育振興基本計画後期計画にこれを変更するということを確認していただいて、現在に至っているところです。来年度、この教育振興基本計画が1期計画から2期計画に移行するにあたりまして、本町の教育に関する大綱を、第2期香美町教育振興基本計画に変更させていただきたいと考えており、本日提案させていただくものであります。

(町長)

ただ今、教育総務課から香美町の教育に関する大綱の変更について説明を受けました。なにかご意見等はございませんか。

<意見等なし>

(町長)

ご意見がないようですので、第2期香美町教育振興基本計画を本町の教育に関する大綱とさせていただくことにしたいと思います。

(2)「少子化の進行を背景とした香美町の教育環境のあり方について」の取扱いについて

(町長)

続きまして協議事項の(2)に入らせていただきます。「少子化の進行を背景とした香美町の教育環境のあり方について」の取扱いについて、教育委員会事務局より説明をいたします。

(教育総務課長)

お手元に資料をお配りしておりますが、平成26年11月10日付の答申書というものがございます。これは平成23年の5月に、次世代を担う子どもたちにとって望ましい学校運営や学習集団のあるべき姿が問われている中であって、本町の学校教育を取り巻く環境や地理的条件及び歴史等も踏まえ、小中学校の適正配置や再編を含めた統廃合を検討するため、当時の町長から、少子化の進行を背景とした教育環境のあり方について諮問を受けました。これに対しまして、最終的な答申を平成26年の11月に行っており、基本的には学校は維持しながら、学校版教育環境会議で保護者や地域の方の意見を伺って、統合を希望するという方の割合が相当数、ということで3分の2以上あった場合に統合について検討をしていくという進め方をしてきました。この度、新たな本町の教育に関する大綱ということで先ほど確認していただきましたが、第2期教育振興基本計画に示しております方向性に基づき、今後は、教育委員会が学校再編計画を策定して、保護者や地域の方の理解を得ながら進めていくというやり方に改めさせていただきたいと考えており、提案をさせていただくものです。この件についてご協議をお願いいたしたいと思います。

(町長)

ただいま説明を受けました件について、皆様方のご意見をお伺いしたいと思います

ます。今までの町の考え方から大きく舵を切る問題でございます。それぞれ教育委員さんからご意見を伺いたいと思います。

(田路委員)

香美町内の小中学校、就学前も含めてですが、子どもたちの減少が急速になってきております。そして、ほとんどの学校が複式学級とか、さらには学年によっては1人か0人というようなところも生じるようになってきておまして、保護者の皆さんにとりましたら大変不安といたしますか、心配なことで、こんな人数の少ないクラスで6年間、9年間過ごしたら、どんなことになるのだろうというような、深刻な不安を感じているということも聞いております。そういう中にありますので、やはり早急に編成の適正につきまして、しっかりと教育委員会主導で計画を練って、そして保護者の皆さんや地域の皆さんと話し合う中で、この不安を解消できるように進めることが求められているのではないかと考えています。

(多田委員)

私たちも学校訪問をさせていただきますので、子どもたちの数は減っていますが、どの学校に行っても、先生方が子どもたちに寄り添って、一人一人を大切に、確実に学力をつけてくださるというような様子は見えています。ただ、今求められている主体的で対話的な深い学びの実現ということを考えたときに、集団学習だとか、多様性に触れるとかいう観点でいうと、限界があるのではないかととも窺えます。そういう学校の実態を一番把握しているのは教育委員会だと思いますし、もちろん、保護者や地域の方の意見は尊重していかないといけないと思いますが、ご意見を伺いながら、子どもたちの学習に最適な環境はどうあるべきか、適正配置については文部科学省や兵庫県の方針に基づいて、大きな視野、様々な観点から判断していくのは教育委員会の責任ではないかと思っております。この方向で教育委員会が責任を持っていくという形が必要ではないかと思っております。

(安田委員)

今回の変更に伴って、より現場での声や子どもたちにどのような教育が大事なのかということが、教育委員会を通して、地域の方に発信できるという体制が整

ったと思います。今まで香美町が行ってきた小規模での学校の取組は、もし再編成されたならばその学校で、そのノウハウを生かした授業の取組や学校での取組を再度考え直せるのではないかと思いますので、今後さらに期待できるのではないかと考えております。

(吉田委員)

平成26年の答申から現在を見てみますと、どうしても少子化が進んでしまっている。そして、今後どの学校も半数近く減るのではないかという危機感もあります。今までの、香美町ならではの魅力ある学校園の取組は大事にしながら、今後、少人数の良さといっても、あまりにも極端な形になると、子どもにとっての教育環境はこれでいいのだろうかということにもなります。今後は、香美町全体をみて、そして、どのように適正な配置をし、編成していくことがいいのかということを検討し、計画を立てながら進めていくことが大事になってくると思います。そういう意味からも、教育委員会が主体となってやっていくということが望ましいと思います。

(教育長)

町が進めてきました少人数、魅力ある学校づくりというのは、適正化が行われても、事業に関してはそのまま使えるものを同時並行として進めてきておりますので、今まで取り組んできたことをベースに、統廃合、適正化については進めていくべきだというのが総論になっております。

(町長)

ご意見ありがとうございました。まとめさせていただきますが、少子化の進行を背景とした香美町の教育環境のあり方について、これまで平成26年の答申に基づきまして、基本的に学校は維持しながら、学校版教育環境会議で保護者や地域の方の意見を伺い、「今すぐ統合を希望する」という割合が3分の2以上であった場合に、統合について検討していくという進め方をしてまいりました。先ほど教育に関する大綱としてご承認をいただいた第2期教育振興基本計画に示す方向性に基づきまして、今後は、教育委員会が学校再編計画を策定し、保護者や地域

の方の理解を得ながら学校統合を進めていくことを確認させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<教育委員全員 異議なし>

(町長)

ありがとうございます。ただ、答申に基づいて進めてきた、例えば、学校間スパー連携チャレンジプラン、そういうものの効果がなかったというような変更ではなしに、十分に成果があったということを教育委員会、町として確認をしながら、教育委員会主導の学校統合の考え方にシフトさせていただくという意味合いで今後進めていきたいと思えます。

先だって、ご参加をいただいた奥佐津小、佐津小の保護者、地域の皆さんとの意見交換の場、コロナで今後スケジュールもどうなるかということですが、全町的にやっていかなければならないと思えますし、今までは統合を希望する方々の強い意見がそういう場でも出てきましたけれども、統合に向け教育委員会が主体的に取り組んだものを住民の皆さんに提示しますと、現行の小規模校ながら地域に学校を残すという意見の方々も、これからは声をあげてこられると想像しています。

その調整を教育委員会、あるいは町長部局も含めて、どのように住民の意見を反映しながら、香美町として現行の小学校、中学校の在り方をどのようにしていくのかという視点で、全地区同じように考えをまとめていくというような考え方でないと、これは香住区に特化したものではないということですが、ただ、住民の皆さんの意識の違いは、やはり学校統合の希望の大きい声も、香住区が大きく先行しているということですが、子どもたちの環境というのは、同じように扱っていかねばいけないと思えますと、村岡区の対応についても、教育委員会で、今後の方向性を住民や保護者の皆さんに示していく必要があると思えます。

教育委員さんには、大きく様々な考えをまとめていただいたり、住民や保護者の皆様に方向性を指し示していただく素案作りにスケジュール感を持って取り組んでいただくことで、大変負荷がかかってまいります、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

それでは、協議事項につきましては以上で終わりたいと思いますので、事務局にお返しします。

(3) その他

(教育総務課長)

貴重なお時間をいただき、慎重なご協議ありがとうございました。その他、皆様より、なにか意見等がありましたら、いかがでしょうか。

(町長)

この後、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開きますが、今後のコロナの学校の運営を含めた対応は、教育委員会の考え方を示していただいたものを、対策本部会議で決定したということで、学校の運営についても今後相談していきたいと思います。特に学校現場の運営の在り方については、教育委員さんや現場の先生方の意見を土台に、最終的には対策本部会議で決定したことを住民や保護者にお伝えするという方向でさせていただきたいと思いますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。

4 閉会

(教育総務課長)

それでは、本日皆さんからいただきましたご意見、ご決定いただきました方向性にしたがって、今後の教育行政を進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の総合教育会議を閉会といたします。ありがとうございました。